

## I. 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

- お互いに説明し合うことで活用力を伸ばし、授業を通して子どもたちのつながりづくり。
- 子どもたちの「学びに向かう力・人間性」を育て、豊かな考え方を身につけ、確かな学力をつける授業づくり

### 1. 「いつま小学校 学習の手引き」等の徹底による共通理解

- (1) 「2021年度 いつま小学校 学習の手引き」(右図→) 全校統一した基本的な学習規律、学習態度等の徹底
- (2) 学習規律(年度ごとに見直す)
  - ①用具 ②授業の始め ③授業中 ④授業の終わり ⑤授業後
- (3) ノートについて
  - ①ノートのとり方 ②使用ノートの目安
- (4) 教科書類の持ち帰り等



学年	小学生	中学生	高校生
目的	授業中の「あてはこ」・CHECKの徹底で、(※以上を4-5年制から始める。※・青鉛筆、定規、黒しご、ボールペン)	授業中の「あてはこ」・CHECKの徹底で、(※以上を4-5年制から始める。※・青鉛筆、定規、黒しご、ボールペン)	授業中の「あてはこ」・CHECKの徹底で、(※以上を4-5年制から始める。※・青鉛筆、定規、黒しご、ボールペン)
用具	・消しゴムは、よく消えるものを準備し、削りかたや削りかたのなさは、学校の学習に合わせよう。	・鉛筆に慣れよう。	・鉛筆に慣れよう。
授業の準備	・下校後、授業の準備	・授業開始、12-15分間の名前を覚えていること	・授業開始、12-15分間の名前を覚えていること
授業の始め	・「お礼いしませう」の後—授業のなか、授業に参加する気持ちを伝える。	・机の上の整理(教科書、ノートを整えて置くなど)	・机の上の整理(教科書、ノートを整えて置くなど)
授業中	・授業の進め方を意識させる。	・授業の進め方を意識させる。	・授業の進め方を意識させる。
授業の終わり	・「あつたことおぼえよう」の後、一呼吸つかせる。または一呼吸つかせる後、手をたたかせる。	・「あつたことおぼえよう」の後、一呼吸つかせる。または一呼吸つかせる後、手をたたかせる。	・「あつたことおぼえよう」の後、一呼吸つかせる。または一呼吸つかせる後、手をたたかせる。
授業後	・机の上を整理しよう。	・机の上を整理しよう。	・机の上を整理しよう。
授業後	・授業終了後(休み時間)に、次の授業の準備をしよ。	・授業終了後(休み時間)に、次の授業の準備をしよ。	・授業終了後(休み時間)に、次の授業の準備をしよ。

### 2. 『学び合い』を取り入れた授業への取組

- (1) 課題の工夫＝「考えたい」「わかりたい」「説明したい」
- (2) 課題解決の方法＝効果的な交流の仕方＝対話的学び
- (3) 教師の出番、助言・言葉かけの工夫
- (4) ICT 機器の効果的な活用(AIドリル・ロイロノート等)

「学習のきまり」などの基本事項の徹底



(5年 AI ドリルの活用)



(56年 合同算数授業)

### 3. 小規模校の特色を活かした「ファミリー班(たてわり班)」活動

- (1) 異学年による「学び合い 確かめ合う学習」の取組
- (2) 人間関係づくりのための「なかよしタイム」の取組



(6年「算数」学び合い活動)



(34年 合同なかよしタイム)

## II. 家庭・地域との協働

### 1. 学校・PTA との連携

- (1) 「親子読書」の取組(一冊の本を親子で読み、互いに感想を交流する)
- (2) 「親子作文」の取組(子どもの書いた日記を保護者が添削し、感想を記す)
- (3) 取組成果の広報(PTA 広報部による広報紙の発行)



(「親子日記」を掲載した PTA だより)

### 2. 学校・地域との連携

- (1) 地域に伝わる「くにち」の特別講座の取組等(校区内の各地域の人々を講師として迎え学ぶ)
- (2) 体験学習の取組(地域の方から果実の採取から食品加工を学ぶ等)
- (3) 地域貢献への取組(育成した花の配布、老人介護施設への訪問等)



(6年「くにち」を学ぶ)



(12年 桑の実ジャムづくり)



(123年「喜楽苑」訪問)



(地域へ花をお届け)